

スマートフォンを用いた高齢者向け見守り・ヘルスケアの実証実験及び  
スマートフォンの使い方教室 実施結果報告書

---

令和4(2022)年2月1日から3月25日

令和4(2022年)年4月



# もくじ

第1章 実証実験の目的.....	1
1 実証実験の背景 .....	1
第2章 実証実験の内容等 .....	2
1 実施体制等 .....	2
2 実証実験の内容.....	2~4
別紙資料1 募集チラシ	
別紙資料2 実証実験説明文書	
別紙資料3 同意書	
別紙資料4 「ぐうちゃん」登録用 QR コード	
別紙資料5 スマートフォンの使い方教室開催実績	

---

## 第1章 実証実験の目的

---

### 1 実証実験の背景

高齢者へのデジタルへの接触機会を増やし、その価値を実感できるようにするなど、全ての人にデジタルの恩恵を受けられる機会を与える「誰一人取り残さない」ための取り組み並びに高齢者を中心に存在している「端末の操作が難しい」、「近くに相談できる人がいない」などの理由でデジタル活用を躊躇されている方へのデジタル・リテラシー向上の取り組みとして、「日本一前向き！」コンソーシアム会員(※)の国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学からスマートフォンを用いた高齢者向け見守り・ヘルスケアの実証実験及びスマートフォンの使い方教室の提案があり、本市として有用性があると判断し、関係部署と連携を図り実証実験を行いました。

※「日本一前向き！」コンソーシアム…令和2年2月20日に先端技術を活用することにより地域課題の解決に取り組みに賛同する地域団体・企業・大学・行政で設立。

「日本一前向き！」コンソーシアム参画団体

地域ボランティア団体、(株)アカカベ、(株)ウフル、NEC ソリューションイノベータ(株)、関西電力(株)、

近鉄ケーブルネットワーク(株)、(株)グリーンファーム、ソフトバンク(株)、(大)奈良先端科学技術大学院大学、

YuMake(同)、(医)和幸会、四條畷市 令和4年4月11日現在

---

## 第2章 実証実験の内容等

---

### 1 実施体制等

#### (1)実施体制

大阪府四條畷市・国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学(以下「奈良先端大」という。)

#### (2)実施場所

四條畷市立老人福祉センター楠風荘 指定管理者:株式会社ビケンテクノ(以下「楠風荘」という。)

#### (3)対象者

スマートフォンをお持ちの方

#### (4)実施期間

令和4年2月1日から令和4年3月25日まで

#### (5)募集方法

楠風荘でのポスター掲示及び募集チラシの配布

### 2 実証実験の内容

#### (1)参加人数

募集予定人数 30人 最終参加人数 47人(男性11名、女性36名)

※実証実験の評判を聞き、参加希望者が増え、随時参加可能に変更した。

参加者の平均年齢 76歳(66歳から89歳)

#### (2)実証実験の手順等

##### 【導入手順】

①募集チラシを楠風荘協力のもとで配布及びポスターの掲示を行いました。(別紙資料1参照)

②奈良先端大から対象者へ研究の目的・方法等について説明を行い、趣旨に同意された方を参加者としました。(別紙資料2～3参照)

③参加者のスマートフォンにLINEを使い対話アプリ(ぐうちゃん)と友達登録。(別紙資料4参照)

## 【見守り・ヘルスケアの方法】

- ①「ぐうちゃん」アプリによる対話と LINE 上で友達となった「ぐうちゃん」が、参加者に向けて対話方式で質問を行います。
- ②送られてきた質問に対し、参加者から回答をいただきます。
- ③対話の質問内容により、参加者の活動情報や体調を確認することができます。例として、どこにお出かけした？と質問することにより日常の活動状況や、楽しかった？と質問することにより心理状況を把握することができます。

## 「ぐうちゃん」アプリによる対話例



## LINE による対話例



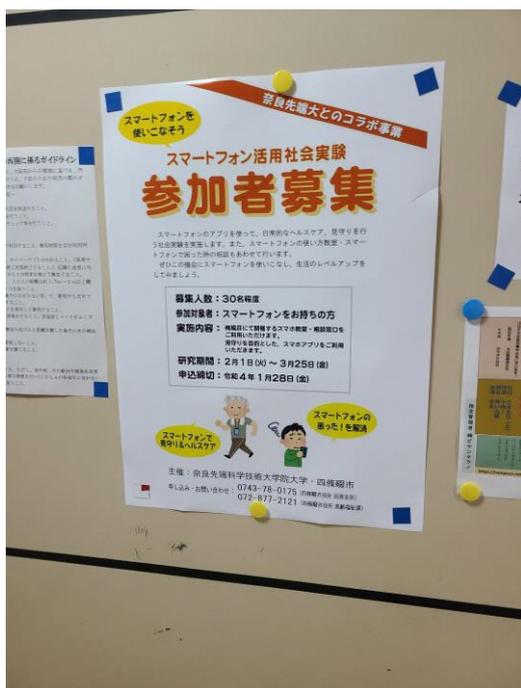
## 【スマートフォンの使い方教室】

楠風荘へ奈良先端大から先生が来所し、スマートフォン操作等のお困りごとについて、個別相談方式により行いました。

開催回数 24回

参加人数 延べ103人(別紙資料5参照)

### ○実証実験での様子



### (3)実証実験参加者の意見・感想

- ・良かったです。
- ・先生話しやすい、気さくで、上目線でないから大好き。
- ・和気藹々にさせていただき、ありがとう。人柄が良い。人当たりがいいこんなこともわからないのか、という物の言い方をする人がいる。けど今回はそうじゃない。
- ・みんな素直な人ばかりやから、この人聞きにくいな～みたいな人はいなかったボランティアで来てくれてはるんやから、よかった。
- ・出来れば続けて来てほしい。
- ・非常に良い機会になった。
- ・時間を決めて、やった方が先生も暇じゃなくてイイのでは？ 例えば、10:00-11:00(枠)みたいな教える方として、予定調整が難しいのでは？
- ・コンピューターも習いたい。
- ・優しく教えて頂き有り難うございました家族より優しいですよ♪
- ・家も近いし通いやすかった。
- ・こういう機会があるのが良い。利用範囲が広がった。
- ・分からない事を丁寧に教えて頂き理解できました。ありがとうございました。またの機会をお願いします。

### (4)考察

今回の実証実験では、アプリによる対話とLINE上で友達となった「ぐうちゃん」によってキャラクターへの親和性や対話意欲の向上に併せ、対話から活動状況や心理状況の確認ができたことの報告を受けております。また個別相談方式によるスマートフォンの使い方教室を複数回開催したことから、講師へ親近感を持たれる方が多く、質問しやすい状況だったと考えます。このことから1つのスマホ教室の方法として、今後も機会があれば関係者との連携・調整を図り、実施してまいります。

スマートフォンを  
使いこなそう

## スマートフォン活用社会実験 参加者募集

スマートフォンのアプリを使って、日常的なヘルスケア、見守りを行う社会実験を実施します。また、スマートフォンの使い方教室・スマートフォンで困った時の相談もあわせて行います。

ぜひこの機会にスマートフォンを使いこなし、生活のレベルアップをしてみましょう。

**募集人数**：30名程度

**参加対象者**：スマートフォンをお持ちの方

**実施内容**：楠風荘にて開催するスマホ教室・相談窓口をご利用いただけます。  
見守りを目的とした、スマホアプリをご利用いただきます。

**研究期間**：2月1日(火)～3月25日(金)

**申込締切**：令和4年1月28日(金)

スマートフォンで  
見守り&ヘルスケア



スマートフォンの  
困った!を解消

主催：奈良先端科学技術大学院大学・四條畷市

申し込み・お問い合わせ：0743-78-0175 (四條畷市役所 田原支所)  
072-877-2121 (四條畷市役所 高齢福祉課)

## スマートフォンを用いた対話ロボット（キャラクタ）の研究に関する説明

この説明文書は、あなたにこの研究の内容を正しく理解していただき、あなたの自由な意思に基づいて、この研究に参加するかどうかを判断していただくためのものです。

この説明文書をお読みになり、説明を聞かれた後、十分に考えてからこの研究に参加するかどうかを決めてください。たとえ参加されなくても不利益になることはありません。また不明な点があれば、どんなことでも気軽に質問してください。

### ・研究の目的について

対話ロボット（キャラクタ）は、社会的孤立者や高齢者などの見守りや自立支援・ヘルスケアを目的とした生活パートナーとしての利用が期待されています。本研究は、対話ロボットの社会的普及を目的として、対話ロボットを評価するものです。

### ・研究の方法について

スマートフォンに対話ロボットアプリをインストールして、日常生活で利用していただきます。全体の研究期間は 2 か月程度で、日常的に対話ロボットと対話していただくようお願いいたします。

また、アプリからアンケートに回答していただきます。

なお、参加中に不快に感じられることなどがありましたら、お申し出ください。すぐに研究を中止いたします。

### ・研究への参加とその撤回について

この研究への参加は自由です。同意された後であっても、同意を取り消すことができます。その場合、アンケート結果などの情報は、この研究目的に用いられることはありません。

### ・個人情報の取扱いについて

あなたのアンケート結果をこの研究に使用する際には、あなたのお名前の使用せずに研究用の番号を付けて取り扱います。個人情報を守るセキュリティについては、万全を期した体制で対応しております。

なお、本研究は大阪大学の委託研究として行います。そのため同意をいただいた方のみ、ロボット、スマートフォンの利用（対話）を通じて得られたデータ（対話内容）を使わせていただくこととなります。

その場合、大阪大学からご案内を送付させていただきますが、送付の不可について、同意書のチェック欄でお選びください。

- ・ 試料や情報の保管等について

この研究において得られたあなたのアンケート結果や生理指標計測結果は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、奈良先端科学技術大学院大学 神原誠之の責任の下、保存します。

- ・ 本件連絡先

担当研究者：神原 誠之

連絡先：奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科  
0743-72-5331

年 月 日

## 同意書

奈良先端科学技術大学院大学  
先端科学技術研究科長 殿

研究題目：対話ロボットの日常的な継続利用が人に与える影響の調査に関する研究

私は、上記研究に参加するにあたり、担当研究者から以下の項目についての説明を受け、この研究に参加することに同意します。

説明を受け理解した項目（□の中にレをご記入下さい。）

- 本研究の方法及び目的について
- 予想される研究の内容について
- 同意は任意のものであり、同意しない場合も不利益を受けないこと
- 参加後でも、撤回が可能であり、その場合も不利益を受けないこと
- 結果の公表とプライバシーの保護について
- 本研究に関する質問が自由であること

後日、大阪大学の案内を送付してよいか。（下のどちらかにレをご記入下さい。）

送付可 ・  送付不可

※「送付してもよい」にレをご記入された方は、送付先（住所、メールアドレスなど）を記載ください。

送付先： \_\_\_\_\_

本人署名： \_\_\_\_\_

署名年月日： \_\_\_\_\_ 年 月 日

私は担当研究者として、今回の研究について上記の項目を説明し、了承が得られたことを確認しました。

担当研究者署名： \_\_\_\_\_

署名年月日： \_\_\_\_\_ 年 月 日

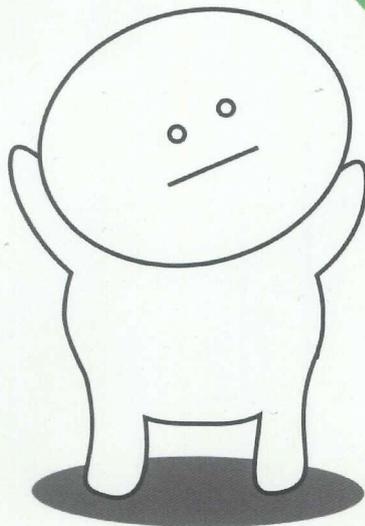
【本件連絡先】

担当研究者：神原 誠之

連絡先：奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科  
0743-72-5331



**LINEトモダチ**になって、  
ぐうちゃんとおはなししよう!



No.	日付	曜日	開始時間	終了時間	参加者数
1	2月1日	火	10:00	13:00	11
2	2月2日	水	10:00	13:00	3
3	2月3日	木	10:00	13:00	10
4	2月10日	木	10:00	14:00	5
5	2月12日	土	10:00	14:00	8
6	2月13日	日	10:00	14:00	3
7	2月15日	火	10:00	14:00	1
8	2月16日	水	10:00	14:00	5
9	2月17日	木	10:00	13:00	4
10	2月24日	木	10:00	13:00	4
11	2月25日	金	10:00	14:00	5
12	2月26日	土	10:00	13:00	2
13	3月2日	水	10:00	14:00	4
14	3月3日	木	10:00	14:00	2
15	3月4日	金	10:00	14:00	4
16	3月9日	水	10:00	14:00	7
17	3月10日	木	10:00	14:00	1
18	3月11日	金	10:00	14:00	4
19	3月16日	水	10:00	14:00	5
20	3月17日	木	10:00	14:00	5
21	3月18日	金	10:00	14:00	1
22	3月23日	水	10:00	14:00	4
23	3月24日	木	10:00	14:00	3
24	3月25日	金	10:00	14:00	2

計	24回開催	参加延べ人数103人
---	-------	------------